

目標達成計画

作成日：平成 22年 3月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画の作成についてはグループホーム担当職員と共にご本人・ご家族の意向を踏まえながら作成し、実践しているが全職員が十分に理解・実践できているとはいえず記録に関しても連動した内容の記載が少ない状況である。	介護計画に沿った適切なサービス提供と記録を全職員一体となって実践できる。	介護計画作成後に全職員確認・捺印する。 職員会議にて内容の説明を行い周知する。 介護計画実施についての内容を記録を徹底していく。(様式の見直し、記入方法の再検討)	6ヶ月
2	33	重度化・終末期についての意向をご本人・ご家族に確認をしながら、施設として対応が可能である範囲等お話をし、了承頂いている。しかし往診可能な医療機関が見つからず、終末期対応に不備な点がある。職員の重度化に対する知識が十分とは言えない。	ご本人・ご家族への重度化・終末期対応の説明が出来る様、方針の明確化を行う。施設全体でできる範囲の対応ができる様知識や技術のレベルアップを図る。	往診可能な医療機関の検討(法人本部と共に) 管理者・職員との重度化・終末期対応への方針の共有を行う。不安に感じる事等を含めて共有していく。 一ヶ月に一度程度の重度化・終末期対応へ向けた勉強会の開催。	6ヶ月
3	35	毎月の災害対策訓練は行っており、地域の自主防災会へ加入し、より地域との連携を深めていく必要がある。	地域住民の方々・各関係機関との連携を強化し、協力体制の確立をしていく。	施設での訓練に地域住民の方々の参加を頂ける様働きかけを行っていく。 地域自主防災会への加入で役割の明確化、協力体制の強化を行っていく。 地域での災害時、施設の役割を明確化し機能を地域住民に知って頂ける様周知していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。